

次期兵庫医科大学長に求められる学長像

2022年5月26日
学校法人兵庫医科大学理事会

兵庫医科大学は、建学の精神である「社会の福祉への奉仕、人間への深い愛、人間への幅の広い科学的理解」の下、幾多の困難を乗り越え、開学以来50年を経て、兵庫医療大学との統合により、新たに医系総合大学としての確固たる地位を占めようとしている。

今日、我が国は、急激な少子高齢化とともに昨今の新型コロナウイルス感染症、そしてウクライナ戦争に伴う急速な物価高騰など、劇的な変化に見舞われている。こうした現状の下、兵庫医科大学の使命と責任は重大である。

兵庫医科大学の目標は、医学・医療における基礎的、総合的な知識と高度で専門的な学術を教授研究し、豊かな人間性、高い倫理観、強い研究マインドを持つ優れた医療人を育成すると共に、地域医療の充実と高度化を図り、人類の健康と福祉の向上を通じて社会に貢献することである。

次期学長は、兵庫医科大学の統率者として、学校法人兵庫医科大学がその使命と責任を果たすべく策定中である「第4次中期事業計画（2023～2028年度）の着実な推進はもとより、高い識見と強いリーダーシップを発揮して教育、研究、診療、社会貢献を通じて、知の拠点としての「大学力」を一層向上発展させることが求められる。

1 求められる学長の資質・能力

(1) 人格が高潔で、学識に優れ、国際的視野を有し、大学運営に関し高い識見と指導力を備え、かつ学校法人兵庫医科大学の建学の精神に基づいて、公正、公平に大学を運営できる能力。

(2) 医学教育の改革、創造的な基礎研究、先進的な臨床研究等を強力に推進するため、担当副学長・学部長とともに具体的な計画と方策を定め、その実現に向けて着実に行動する能力。

(3) 兵庫医科大学に対する社会の要請を的確に判断し、常に兵庫医科大学における教育、研究、診療活動を検証し、信頼され、求められる医系総合大学として発展させる能力。

(4) 教員等の研究活動を支援し、トップレベルの研究を育て、世界に発信できるようプロモートする能力。

(5) 学生、教職員の帰属意識を高め、兵庫医科大学同窓会「緑樹会」、「海鳥会」と良好な関係を構築し、愛校心を持って兵庫医科大学の諸事業に協力する姿勢を醸成する能力。

(6) 学校法人の永続性を担保する経営基盤の充実を十分に考慮して大学を運営する能力。

(7) 4学部の個性を尊重しつつ、大学全体の総合力を高めていくことのできるバランス感覚

2 取り組むべき課題

(1) 各学部求められる国際基準の質の高い教育を実践するため、常に教育プログラムの見直し、改善に取り組むこと。

(2) 教員の教育力向上、薬学教育センターの効果的な運用により、薬学部低学力者対策を推進し、在学生の学力の向上を図るとともに、薬剤師国家試験合格率を全国平均以上のレベルに引き上げること

(3) 医学・医療のグローバル化に対応し、国際的に活躍できる医療人および研究者を育成し輩出すること。

(4) 教育機能・研究機能の強化に向けた教員の質向上を図るため、処遇に反映する教員の人事考課制度の導入に取り組むこと。

(5) 教育の充実および学術研究活動推進のため、競争的資金はじめ外部資金の獲得ならびに幅広い受託・共同研究の受け入れ等の産官学連携に努めること。

(6) 大学病院、臨床教育統括センター等の取り組みを通じて多職種連携教育をさらに具現化するため、4学部の協調連携体制を構築すること。

(7) 新病院建築に関連する事業が円滑に実現するよう指導すること。